

TOTO

天然木手すり 62シリーズ

YHB62型
YHB402・602・802型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1

安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
	警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

警告	
	屋外や浴室などの、水がかかったり湿気が多い場所には取り付けない また、下地および商品を水にぬらさない 部材が腐食することで商品および手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをすることがあります。
	修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理・改造は行わない 手すりの破損や脱落により、けがをすることがあります。

警告	
 必ず実行	必ず強度のある壁・建築構造体に取り付ける 壁自体に強度がない場合は厚み12mm以上の構造用合板(JAS規格品)または、同等以上の下地に取り付けるか、別売の後付補強板を設ける 土壁・石こうボード壁などの強度のない壁に直接取り付けると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをすることがあります。
	必ず同梱のねじまたは当社指定の固定金具を使用する 同梱のねじまたは当社指定の固定金具を使用しないと、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをすることがあります。
	十分な下地の厚さ、および補強があることを確認し、指定の取付方法で取り付ける 下地に十分な厚み・補強がなく、各下地の指定取付方法を守らないと、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをすることがあります。
	取り付け完了後、手すりにガタツキがないことを確認する 手すりにガタツキがあると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをすることがあります。

2 取り付け前に

取り付け前の注意

- 手すりを取り付ける壁に**十分な強度がある**ことを確認してください。
- **屋外や浴室などの、水が掛かったり湿気が多い場所には取り付けない**でください。
変色や変形のおそれがあります。
- 固定方法は**建物の構造に応じて適切な方法を選んで**ください。
コンクリート下地の場合については別途固定金具をご注文のうえ、同梱の木下地用の
タッピンねじ(φ4.5×40)で固定してください。
固定金具必要個数は「**3** 固定金具(別売品)」を参照してください。

3 固定金具(別売品)

<固定金具一覧表>

品番	T110D28
名称	樹脂プラグ
形状	 φ6×30
入数	20個

<対象製品とねじの使用本数>

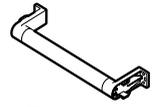
品番	ねじの使用本数
YHB402S YHB602S YHB802S	4本
YHB602LS YHB62NS YHB62NBS	6本
YHB62L/RS YHB62L/RBS	8本
YHB62S YHB62BS	10本

注：プラグ固定の場合、T110D28の入数=20個/セットとなっています。
上記表を参考に取り付けの手すりのねじの使用本数に応じて発注してください。

4

付属部品の確認

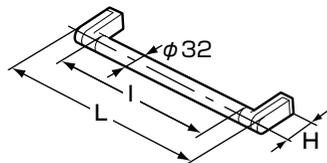
次の部品があることを確認してください。

品番	手すり部  ※商品により形状が異なります。	ブラケットカバー		固定金具	棚板	紙巻器	収納ボックス	棚・紙巻器	棚・紙巻器 収納ボックス	なべタッピンねじ		皿タッピンねじ		座金
		I・L型の端部	L型の コーナー部							φ4.5×40	座金付き φ4×18	φ4×35	φ4×16	
YHB402S YHB602S YHB802S	1個	2個	—	—	—	—	—	—	—	8本	—	—	—	—
YHB602LS	2個	2個	1個	—	—	—	—	—	—	10本	—	—	1本	—
YHB62NS	—	—	—	1個	1枚	1個	—	—	—	6本	6本	—	—	6枚
YHB62NBS	—	—	—	—	1枚	1個	1個	—	—	6本	8本	—	—	6枚
YHB62S	1個	2個	—	1個	1枚	1個	—	—	—	14本	6本	—	—	6枚
YHB62BS	1個	2個	—	—	1枚	1個	1個	—	—	14本	8本	—	—	6枚
YHB62L/RS	1個	1個	—	—	—	—	—	1台	—	10本	—	1本	—	6枚
YHB62L/RBS	1個	1個	—	—	—	—	—	—	1台	10本	—	1本	—	6枚

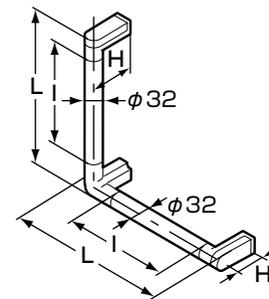
5

完成図

I	L	H	品番
400	455	55	YHB402S
600	655	55	YHB602S
800	855	55	YHB802S

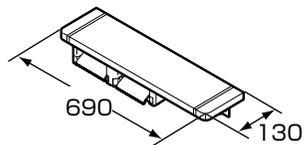


I	L	H	品番
600	663	55	YHB602LS

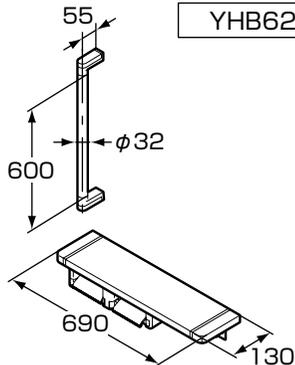


(単位：mm)

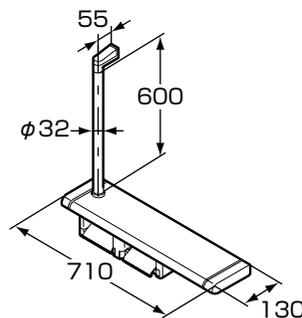
YHB62NS



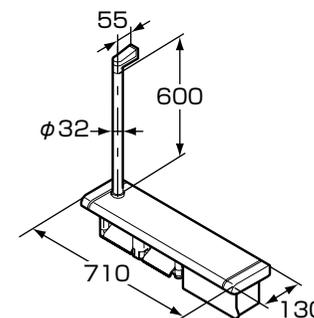
YHB62S



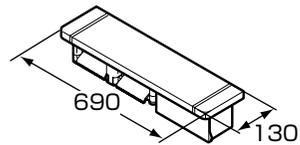
YHB62LS



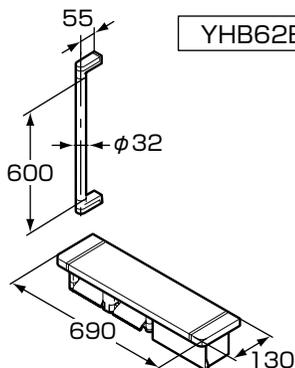
YHB62LBS



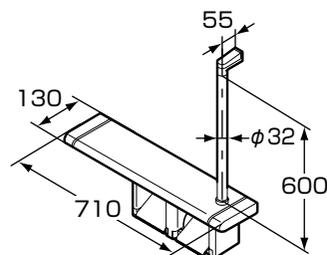
YHB62NBS



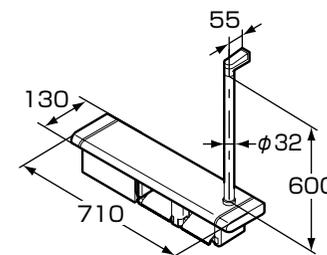
YHB62BS



YHB62RS



YHB62RBS



6

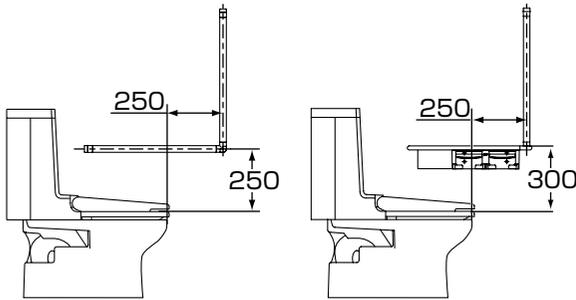
取付位置

下図は参考例です。現場の状況に応じて適切な取付位置を決めてください。

(単位：mm)

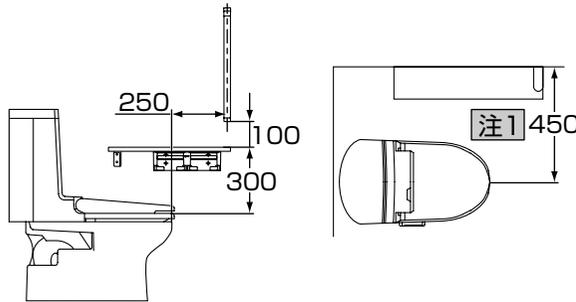
<L型の場合>

<手すり・棚一体タイプの場合>



<手すり・棚別タイプの場合>

収納ボックス付の場合



注意

注1：収納ボックス付き(YHB62BS、YHB62LBS、YHB62RBS、YHB62NBS)の場合、手すり取付壁から便器中心までの距離は、450mm以上を確保してください。ただし、ネオレストXの場合のみ468mm以上を確保してください。収納ボックスの収納扉と便ふたが干渉するおそれがあります。

7

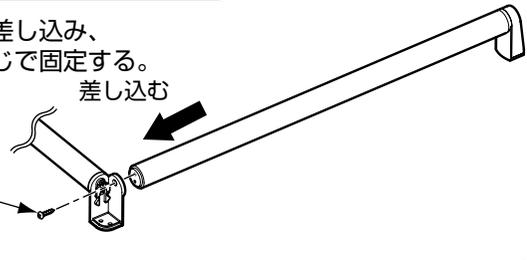
部材の組み立て

L型手すり部分の組み立て

手すりバーを差し込み、皿タッピンねじで固定する。

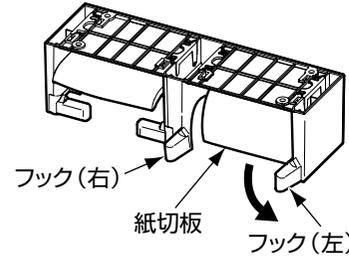
差し込む

皿タッピンねじ
(φ4×16)



紙巻器の取付要領

棚板へねじで固定するときは、左右のフックを手前に開き、紙切板を下げてください。



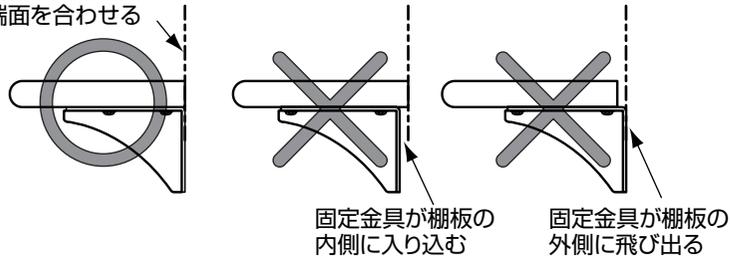
注意

棚板の下面には、紙巻器、固定金具、収納ボックス用の下穴がありますので、必ず下穴に取り付けてください。

※紙巻器を棚に固定後、紙切板を元の位置に戻す。

固定金具の取付要領

棚板と固定金具の端面を合わせる

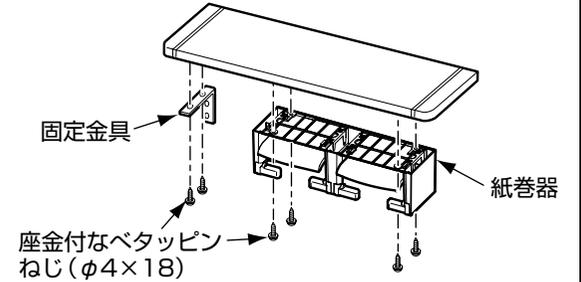


固定金具が棚板の内側に入り込む

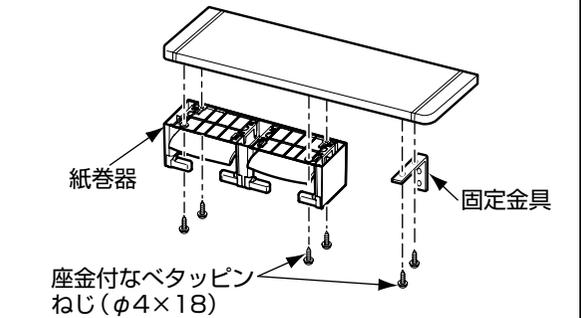
固定金具が棚板の外側に飛び出る

棚・紙巻器・固定金具の組み立て

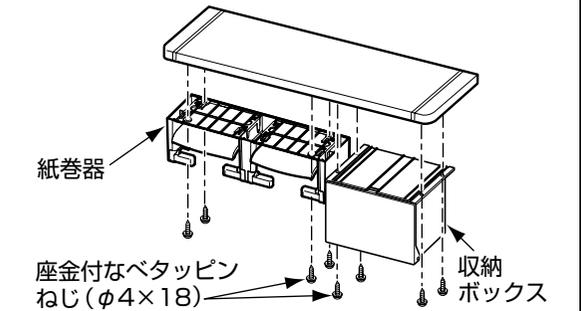
<右壁設置の場合>



<左壁設置の場合>



<左壁設置・収納ボックス付きの場合>



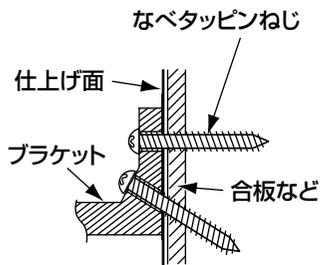
※上図はYHB62S、YHB62BS、YHB62NS、YHB62NBSを示します。

手すりの取り付け

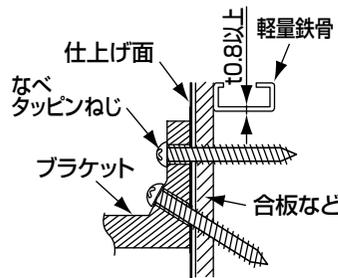
木下地・軽量鉄骨下地：タッピンねじ固定の場合

固定金具品番 同梱のなべタッピンねじをご使用ください。

木下地の場合



軽量鉄骨下地の場合



- ①事前に補強木を取り付ける。**注1**
- ②心出しをしたあと、φ3mmのなべタッピンねじの下穴をあける。
(タイル壁の場合は、タイル部のみφ6mmの通し穴をあけてください)
- ③なべタッピンねじで固定する。**注2**
水平方向を先にけがいて下穴をあけ、手すりを仮固定して斜め方向の下穴をあける。

警告

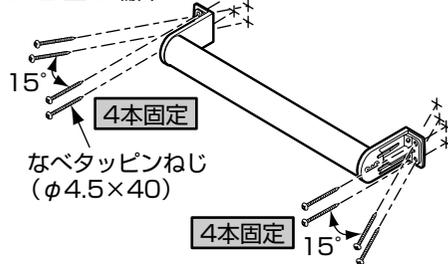
注1：φ3mmの下穴をあけることのできるドリルを使用してください。
ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができないことがあります。

注2：なべタッピンねじを強く締め過ぎて合板・補強木やタイルなどを破壊しないように注意してください。

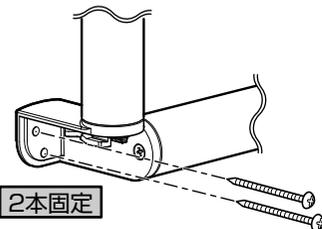
警告

厚み12mm以上の合板、または同等以上の下地材に必ず取り付けてください。
12mm未満の場合は補強木を設けてください。
補強木を取り付けないと、手すりがガタついたり、外れたりすることがあります。

<I・L型の端部>



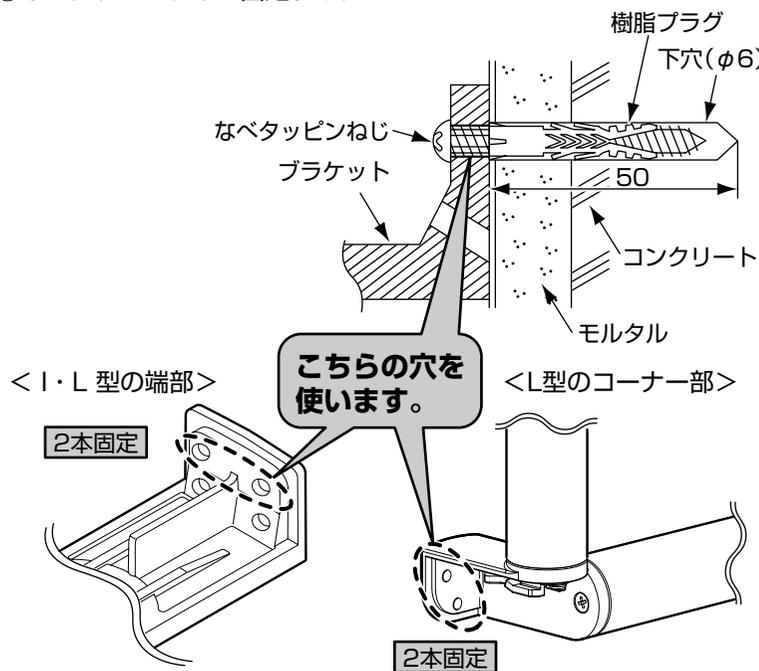
<L型のコーナー部>



コンクリート下地：プラグ固定の場合

固定金具品番 T110D28、同梱のなべタッピンねじをご使用ください。

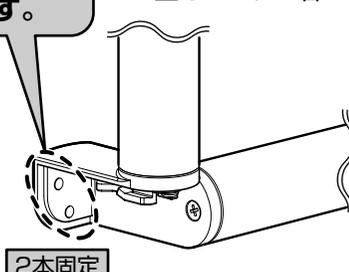
- ①心出しをしたあと、φ6mm、深さ50mmの樹脂プラグの下穴をあける。**注1**
- ②樹脂プラグを下穴に軽く打ち込む。
- ③なべタッピンねじで固定する。



<I・L型の端部>



<L型のコーナー部>

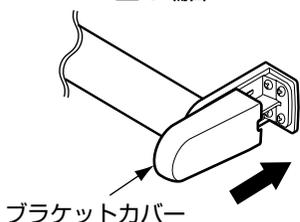


警告

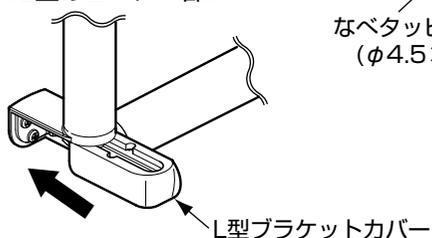
注1：φ6mmの下穴をあけることのできるドリルを使用してください。
ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができないことがあります。

④ ブラケットカバーを矢印の方向に水平に押し込んでください。

< I・L 型の端部 >

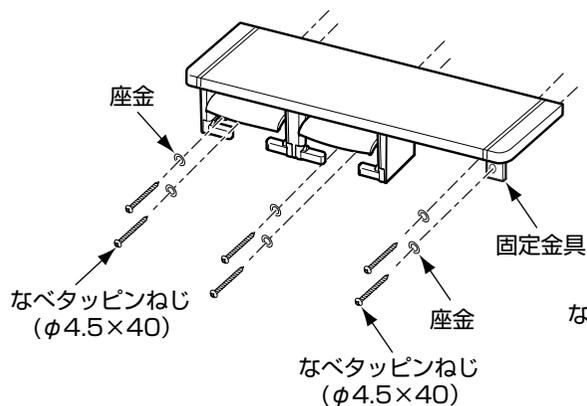


< L 型のコーナー部 >

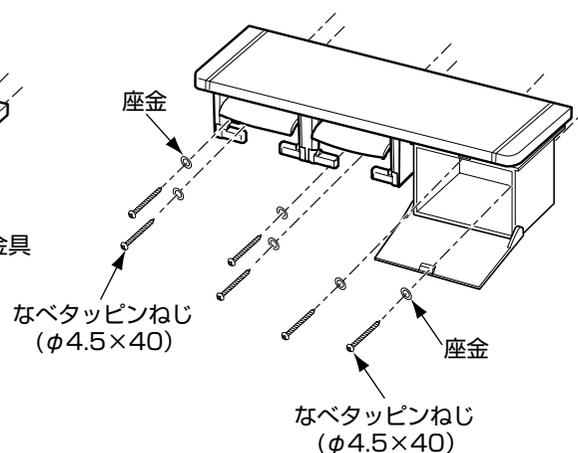


⑤ 固定金具・紙巻器・収納ボックスは座金を入れなベタッピンねじで固定する。

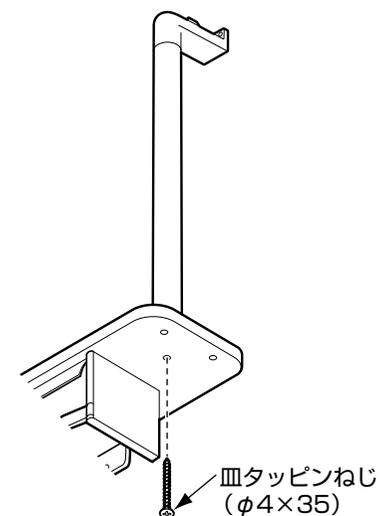
< 収納ボックスなしの場合 >



< 収納ボックス付きの場合 >



< YHB62L/RS、YHB62L/RBSの場合 >



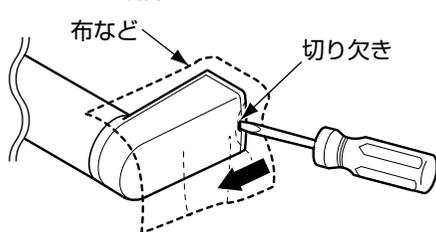
9 ブラケットカバーの外しかた

ブラケットカバーを外すときは、ブラケットカバーを布などで保護し、

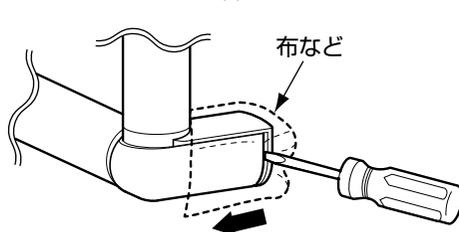
⊖ドライバーを使用して外してください。**注1**

このとき、部品に傷が付かないように注意してください。

< I・L 型の端部 >

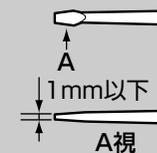


< L 型のコーナー部 >



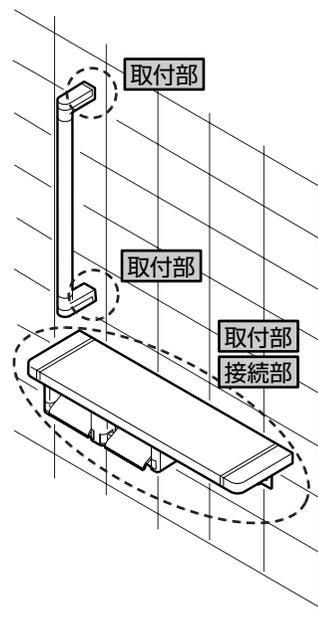
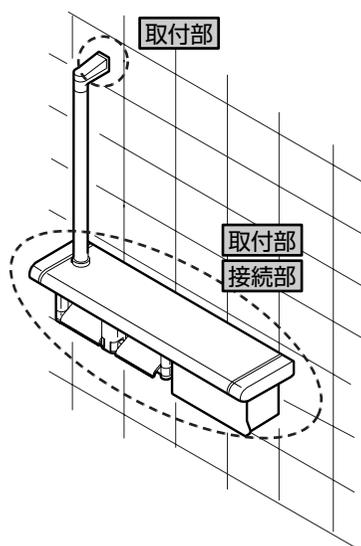
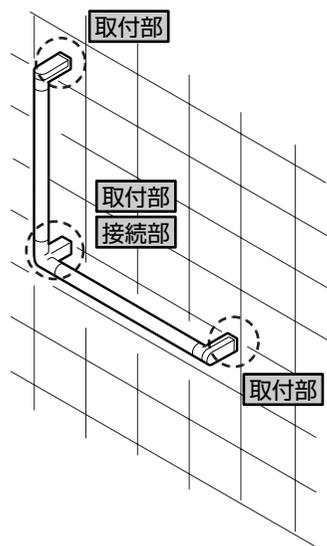
注意

注1：⊖ドライバーは先端部の厚み1mm以下のものを使用し、布などでブラケットカバーを保護してください。ブラケットカバーに傷が付くおそれがあります。



10 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



ガタツキの確認

手すりにガタツキがないか確認してください。

接続部はしっかり組み立てていますか？

➡ 7 「部材の組み立て」 参照

取付部は壁にしっかり取り付けられていますか？

➡ 8 「手すりの取り付け」 参照

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。